

「水鳥の観察実習」

理科：足立、三浦、宮脇

今年度、課題研究「生物」では野外実習を取り入れています。

第1弾は河内長野市美加の台「天見川」の河川環境調査（5月13日）。第2弾は泉南郡岬町「長松海岸」でのタイドプール環境調査（7月16日）。そして、最終回である第3弾は、羽曳野市と松原市の境界にある「大塚山古墳」に水鳥の観察にいきました。

「大塚山古墳」は大和王権の大王墓と考えられており、1932年に陵内立入禁止になって以来、周りの堀には多くの水鳥が息しています。宮内庁管轄で残念ながら中に入ることはいけません。今回は外周から双眼鏡などを使って、どんな水鳥がいるのかを観察していきたいと思います。

いつも通り5限目のはじめにアプローチへ集合。
双眼鏡と、寒いのでホッカイロが配られます。
防寒対策も万全でいざ出発！



現地に到着すると早速力モたちがお出迎え。
えさがもらえらると思っか、歩くについてきます。



遠くにいる鳥達は双眼鏡などを使って観察します。



つがいのかもや、一列にならんで泳いでいたり、
かわいい水鳥をみんな夢中で観察していました。

事前学習でみんな楽しみにしていたオシドリは、
残念ながら今回は見られませんでした。ですが、最初
は全部同じに見えた水鳥たちも、帰るころにはみん
な名前はもちろん、オス・メスまで見分けられるよ
うになりました。

さて下の写真には何種類の水鳥が居るでしょう？



プリントに記入して、実習を終えました。

鳥類調査結果 集計用紙

調査地点の概要 (生物を採集した場所の状況について記入して下さい)

調査日時 2009年10月16日 15時 観察時間(採集時間)を記入して下さい
(採集時間(採集した時間)を記入して下さい)

天気 ☐ 晴 ☐ 曇 ☐ 雨 ☐ 雪 調査時の天気マークを付けて下さい

調査地名 大塚山古墳

観察地点の環境 (ようす)

番号	鳥名	観察された結果		特徴
		数	種	
1	ホシハシロ	1	1	...
2	ハシロガモ	1	1	...
3	ヒドリガモ	1	1	...
4	カモメ	1	1	...
5	マガン	1	1	...
6	オシドリ	1	1	...
7	カモ	1	1	...
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

大塚山古墳(水鳥) 観察した鳥の色を簡単に塗り、名前を書こう

カモメ、オシドリ、カモ、マガン、ヒドリガモ、ハシロガモ、ホシハシロ

() 種名 ()

今回で今年度の野外実習は終了です。

大塚山古墳で観察できた水鳥



ヒドリガモ



マガモ



ハシビロガモ



ヒドリガモ



マガモ



ハシビロガモ



ホシハジロ



トモエガモ



アオサギ



ホシハジロ



???



カイツブリ